

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	041 中核拠点施設整備事業					
予算科目	01-070103-16			担当部課	経済部ジオパーク室	
市長公約	88-1			係名		
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	筑波山地域ジオパーク中核拠点施設基本構想・計画			事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					15陸の豊かさを守ろう	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民、筑波山地域ジオパーク関係者、認定ジオガイド等
目的	筑波山地域ジオパークの魅力を高め、ジオパーク活動を推進する。
概要 (取組内容)	筑波山地域ジオパーク関係者及び地域住民等を対象にしたアンケートやワーキンググループを実施し、広く意見や希望を反映した基本構想・計画を策定する。基本構想・計画を元に設計・改修工事を行い、筑波山地域ジオパークの中核を担う施設を整備する。

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	0	22,249	240,517	
	決算額	(千円) 0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 0	3,392	3,400	3,400	3,400	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.00	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間) 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ワーキンググループ、説明会
企画・立案、計画	ワーキンググループ
実行	パブリックコメント
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	中核拠点施設の年間入場者数 ()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	6,000.0	8,000.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	中核拠点施設の年間入場者数の合計（施設稼働は令和5年度を予定）						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	筑波山地域ジオパーク中核拠点施設基本構想・計画を策定した。 関係各課と調整し、旧筑波東中学校における筑波山地域ジオパーク中核拠点施設の配置案を策定した。	
課題	業務	旧筑波東中学校の整備及び管理運営においては、担当部署を明確化するため、引き続き協議する必要がある。
	組織、予算等	筑波山地域ジオパーク中核拠点施設の稼働に向けて、事務局体制を検討及び整理する必要がある。 中核拠点施設の整備にかかる費用の削減や補助金の活用を検討する必要がある。
改善目標	関係各課との協議を進め、旧筑波東中学校の整備及び管理運営における役割分担を明確にしていく。 基本計画及びアクションプランの策定を進める中で、事務局体制についても検討する。 令和4年度に地方創生拠点整備交付金などの補助金が活用できるように準備を進める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	令和3年度（2021年度）に設計、令和4年度（2022年度）に工事等を実施するため。

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	507 筑波山地域ジオパーク推進事業					
予算科目	01-070103-16			担当部課	経済部ジオパーク室	
市長公約				係名		
戦略プラン	Ⅱ-6	1	3	次世代の担い手育成事業	新規・継続	継続
	Ⅱ-6	1	4	誰もが自然を学べる場の提供	事業分類	自治事務（任意）
	Ⅱ-6	2	1	環境保全活動への支援事業	事業体制	職員のみ
個別計画	第2次つくば市観光基本計画 筑波山地域ジオパークアクションプラン			事業期間	毎年度	
根拠法令等	※戦略プランI-2-②-②「体験型観光の推進」にも該当			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					15陸の豊かさを守ろう	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	筑波山地域ジオパークエリアに在住・在勤・在学する者、認定ジオガイド、観光客等
目的	地球科学的に価値の高い地質・地形を含む自然遺産の保全・保護による教育や防災活動、ジオツーリズムなどを活用した地域の持続可能な発展
概要 (取組内容)	学校教育を通じた教育・普及活動(出前授業や支援プログラムの実施) ジオサイトの保全体制の強化(ジオサイトの調査、保全計画の検討) ジオガイドの養成及び体制づくり、ジオツアーの開催(ジオガイド組織の立ち上げ、ジオツアーの充実) 他のジオパークとの情報交換及び連携(JGN大会への参加) ボトムアップの協議会体制の強化(各部会活動の推進、会合の定期開催)

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	12,719	8,017	8,017	
	決算額	(千円) 5,665	5,550	10,166	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 5,665	5,550	10,166	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 14,809	12,085	19,947	19,947	19,947	
	内訳	正職員従事割合	(人) 2.00	1.50	2.50	2.50	2.50
		正職員時間外勤務	(時間) 280.00	776.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		会計年度任用職員有無	(-) 有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	説明会、ホームページやSNSでの情報発信等
企画・立案、計画	特になし
実行	シンポジウム、ホームページやSNSでの情報発信等
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	筑波山地域ジオパークサポーターズ登録数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2,900.0	200.0	300.0	400.0	500.0	600.0
	実績	136.0	152.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-6-①身近な自然を楽しむ環境づくり)登録数の累計					

2	指標名	筑波山地域ジオパーク推進協議会Facebookフォロワー数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,000.0	1,100.0	1,200.0	1,300.0	1,400.0	1,500.0
	実績	1,027.0	1,067.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	Facebookフォロワー数の累計					
3	指標名	ジオツアーの開催実績 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6.0	8.0	10.0	12.0	14.0	16.0
	実績	4.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-6-②自発的な保全活動の推進) 筑波山地域ジオパーク推進協議会主催で実施されたジオツアー(認定ジオガイドが案内したもの)の開催数					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	保全対象を明確化するため、サイトの見直しに関する議論をはじめた。 認定ジオガイドを主体として、防災に関するモデルコースの検討を行った。 協議会で雇用する専門員について議論を重ね、令和3年度中に雇用するための方針を示した。	
成果	サイトの見直しの必要性を教育・学術部会内で共有し、方針を定めた。 認定ジオガイドを主体としたモデルコースの策定に取り組んだ。 日本ジオパーク委員会による再認定審査を受け、筑波山地域ジオパークは再認定となった。 協議会で雇用する専門員について議論を重ね、令和3年度中に雇用するための方針を示した。	
課題	業務	COVID-19の影響により、各種会議やジオツアーなどのイベントの多くが実施できなかった。 再認定審査では、サイトの見直しなどの課題が指摘された。 ジオパークの認知度の低さや、PR不足が課題となっている。
	組織、予算等	基本計画及びアクションプランを策定し、組織の整理や事務局体制の強化を図る必要がある。 協議会で雇用する専門員にかかる費用を含め、引き続き適正予算の検討を行う必要がある。
改善目標	保全対象を選定するための評価基準を策定し、サイトの見直しに着手する。 基本計画及びアクションプランを策定し、地域全体でジオパーク活動に取り組むための方針を示す。 観光事業と連携し、ジオパークの認知度を高めるためのPRを実施する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	